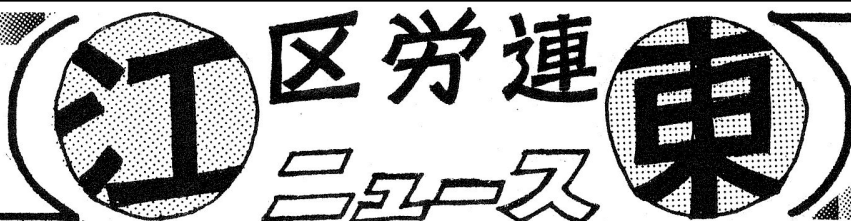




No.313  
部内資料  
2020年 6月15日



江東区労働組合総連合  
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20  
江東教育会館内  
Tel.03-5606-5285 Fax03-3649-0131



# 2020 都知事選

## 宇都宮けんじ さんで

### 命とくらしを守る都政に変えよう!

#### 宇都宮けんじさんのプロフィール

1946年愛媛県生まれ。「宇都宮健児法律事務所（現：東京市民法律事務所）」を経営。以降、サラ金、ヤミ金による多重債務問題、消費者金融問題の草分けの弁護士として、一貫して被害者の救済に取り組む。日弁連消費者問題対策委員会委員長、日弁連多重債務対策本部本部長代行、東京弁護士会副会長、年越し派遣村名誉村長などを歴任。反貧困ネットワーク代表。2010年～2011年 日弁連会長を務める。

プロフェッショナル仕事の流儀第5回「人生も仕事もやり直せる」（NHK 06/2/7 放映）に出演ほかメディアにも多数。

2012年、2014年の2回の都知事選に立候補して次点。

地元、江東区在住。

#### 福祉と医療に手厚い都政へ

コロナPCR検査で話題になった保健所。1994年には都内71か所あった保健所は現在半数以下の31か所に。「何度電話しても繋がらない」ハズ。経済効率優先ではコロナから命を守ることもできません。また都立病院は感染者を真っ先に受け入れ大半の病床を担ってきました。それを都の直営から切り離す…必要な予算が病院に回らなくなり、災害時・周産期・救急医療など不採算となる行政医療ができなくなる恐れがあります。

こんな都政では安心して暮らせません。

革新都政をつくる会は6月8日、臨時総会を開催、都知事選（7月5日投票）に立候補を表明している元日弁連会長の宇都宮けんじさんを推薦し、命とくらしを守る都政への転換をはかる方針を決定しました。

宇都宮けんじさんは、これまでサラ金・ヤミ金による多重債務問題を解決する中で多重債務の原因が「貧困」にある…貧困をなくさなければ解決しない！と年越し派遣村長など反貧困運動の先頭に立ってこられました。過去2回の都知事選に立候補し闘いました。

#### 宇都宮けんじさんの決意表明

##### ★今回の都知事選で問われているもの

都民の生存権がかかった選挙である～都民一人ひとりの雇用を守る、営業を守る、住まいを守る、生活を守る、命を守る。

##### ★緊急の3課題

1. 新型コロナウイルス感染症から都民の命を守る医療体制の充実と自粛・休業等に対する補償の徹底  
(1)PCR検査態勢充実 (2)病院や保健所、医療従事者に対する財政支援の強化 (3)病床、人工呼吸器・ECMO（人工肺装置）・マスク・防護服などの医療器具の充実 (4)自粛・休業などにより収入が減少した中小事業者に対する補償、仕事を失ったり収入が減少した非正規労働者、フリーランス、学生などに対する補償を徹底して行う。
2. 都立・公立病院の独立行政法人化を中止するとともに、これまで以上に充実強化を図る。
3. カジノ誘致計画は中止する。

##### ★重視する8課題

1. 学校給食の完全無償化～子どもの貧困をなくす。
2. 都立大学の授業料を当面半額化し無償化をめざす～誰もが学べる東京都実現する。
3. 都営住宅の新規建設、家賃補助制度・公的保証人制度の導入、原発事故避難者に対する住宅支援～住まいの貧困をなくす。
4. 公契約条例の制定、非正規労働者を減らして正規労働者を増やす～働く者の貧困をなくす。
5. 災害対策（防災、減災、避難者対策など）を強化する～視線災害から都民の命と財産を守る。
6. 道路政策（外環道、特定整備路線、優先整備路線）を見直す～地域住民の意見に耳を傾ける。
7. 羽田空港新ルート低空飛行の実施に反対する～都民の命と暮らしを守る。
8. 温暖化対策（CO<sub>2</sub>の排出削減、自然再生エネルギーの充実など）を抜本的に強化するとともに緑と都市農業を守る～地域環境・自然環境を守る。